

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 吉田 節美
 幹事 石黒 正則
 会報・雑誌委員長 大 口 弘和

No.19

ロータリーの夢を追い続けよう

FOLLOW YOUR ROTARY DREAM

1998～99年度 RI会長 ジェームスL・レイシー

きょうの例会
 第785回 平成10年12月17日 (木)

年末会員家族懇親会

於：名古屋観光ホテル 18時～

先週の記録
 第784回 平成10年12月8日 (火) 曇り

◆“それでこそロータリー”

◆黙想 ～ 太平洋戦争 ～

◆出席報告

| | | | |
|-----|----------------|--------|-----|
| 会員 | 70(65)名 | 出席 | 48名 |
| 出席率 | 73.85% | | |
| 前々回 | 11月24日 (修正出席率) | 98.46% | |

◆ビジター紹介 4名

◆ゲスト紹介

日本モンゴル文化協会 理事長
久野 昭治氏

ニコボックス

秋山 茂則君 昭和16年12月8日を思い出す。
 伊豫田博明君 オユンナ児童基金への御協力ありがとうございます。
 加藤 大豊君 名古屋女子マラソンで育った高橋選手、おどろくべき日本新記録での金メダル、おめでとう!!
 西川 豊長君 吉田会長おめでとうありがとうございます。
 大谷 和雄君 ホームクラブご無沙汰で申し訳ありません。
 鷺野 義明君 城山八幡宮様、吉田会長様、お世話になりました。
 吉田 節美君 西川様、ありがとうございました。
 足立 一成君、二村 聡君、萩原喜代子さん、林 哲央君、池田 隆君、石黒 正則君、伊藤 健文君、河村 政孝君、菊池 昭元君、小山 雅弘君、久保田皓君、久野 峯一君、黒須アイ子さん、松居 敬二君、水野 賀績君、水谷 祥督君、中山 信夫君、成田 良治君、西野 英樹君、鷺谷 龍男君、佐野 寛君、鈴木 正男君、鈴木 理之君、田中 昭二君、舎人 経昭君、和田 正敏君、吉田 玄君 アジアオリンピックではマラソンの高橋選手をはじめ、次々と金メダル、うれしい限りです。

中根 三郎君 結婚記念日祝い。
 深見 章君 誕生日祝い。結婚記念日祝い。

石黒幹事報告

1. 次回例会は、年末会員家族懇親会で17日(木)、午後6時より名古屋観光ホテルにて開催致しますので、15日の例会はございません。
尚、当日歴代会長・幹事さんに参加頂きます合唱では、当クラブプレザーを着用いただけたいと思いますので宜しくお願い致します。
2. 錦ロータリークラブより、「ふれあいクリスマスコンサート」の招待チケットが5枚きております。ご希望の方は、受付に置いてありますのでお帰りにお持ち下さい。

尾関クラブ奉仕委員長よりお願い

皆様の小銭を頂戴するという事で、ペティBOXと名付けた竹筒を例会場の受付に置かせて頂き、半年がたとうとしております。皆様の善意も大分重くなって参りました。有難うございます。
 ここで皆様からのお許しが頂けましたら、このペティBOXを割ってオユンナ基金の一部に当てたいと思います。
 又、来年度は新しいペティBOXを用意致しますので、皆様の善意のご協力、宜しくお願い致します。

吉田会長挨拶

本日はお客様として日本モンゴル文化協会の久野理事長様をお迎えしております。
 さて、今日は奇しくも12月8日でございます。皆様お忘れかも知れませんが—今8日未明、西太平洋に於いて米英軍と戦闘状態に入れり—ラジオのかん高い声を当時校庭の片隅で聞いた57年前の12月8日を今もハッキリと憶えて居ります。その後の戦況は、敗退に次ぐ敗退、名古屋を始め本土の目ぼしい大都市への空襲、広島・長崎への原爆投下で街は廃墟となり、3年8ヶ月に及ぶ悲惨な戦争は終わりました。その終わった8月15日は、戦争を全く知らない世代にもそこそこに理解されて居る様であります。同じ時代に生きながら12月8日を話題にする人は少なく、終わった時はやれやれと云うのが本心で、これからどう云う風に生きようかと未来がありました。始めた日は12月8日なの

かと問えばむろんNOの返事が返って来ると思います。それはそれは長い日本の軍国主義への道のりの一過程にすぎなかったからです。

1931年に始まった満州事変「ここは御国の何百里離れて遠き満州の赤い夕陽に照らされて」と唱った事が子供の頃乍ら記憶の片隅に残って居ります。

昭和12年中戦争、そして太平洋戦争いわゆる15年戦争、日本はそもそもこの国と戦争をしたのかと問われるとその返答に困ってしまいます。

もはや遠い昔となってしまった様に思える「真珠湾」、併し乍らそれをめぐる歴史認識の深い断絶を忘れてはいけません。

さる1997年10月と云えば昨年でございますが、国際的な注目の中で米国訪問を開始した中国の江沢民国家主席が第一歩を踏んだハワイのホノルルで、真先に赴いたのは「真珠湾」即ちパールハーバーでありました。旧日本軍の奇襲攻撃で撃沈されたアリゾナで、戦没者の慰霊碑に花束をささげたのは何を意味するか、色々深い政治的な思惑が見られますが、当時の日本人をあれ程振るい立たせたパールハーバーであります。米国にとっては全く逆の感じしかないのではないかと思います。

昔を今一度呼び起こし「真珠湾」をめぐる歴史を忘れては、日本のこれから進む可き道も失ってしまうかも知れない様な感じのする12月8日であります。

◆講演

“オユンナ基金について”

日本モンゴル文化協会 理事長 久野 昭治氏



日本国民を震撼させた、阪神淡路大震災をテレビで見ていたオユンナは、『私に出来る事で何かをしたい、出来る人が、出来る時に、出来る事を』と、早速彼女は中日新聞社会福祉事業団へ、五十万円の大金を持って行った。

オユンナの父は国立芸術大学の教授で、給料は日本円にして約五千円です。

私は、日本人でもこのような大金を寄附する人はほとんどいないと反対をしたが、彼女は『今このお金が無くても、私は死ぬわけではないから』と国での両親の厳しい生活も顧りみようとしませんでした。

そして、その日から、オユンナの意志を実現すべく、日本全国でのチャリティーコンサートを計画しました。五ヶ月間で約28回コンサートを実施、助け合いの喜びを歌にたくして、充実した日々を過ごし、その年の暮れにモンゴルに帰国、いつものように、トランクいっぱいの菓子を持って……。飛行場カウンターでは、お決まりのオーバーチャージ、私は、無駄な事はよし

て、お金でも持って行けばと思っていたが、実は彼女は、モンゴルの孤児院の子供達に、毎年お土産を持って行ってました。

日本に帰って来た彼女は、涙をこぼしながら、「今モンゴルで大変な事が起きている。ストリート・チルドレンが社会問題になっている、何とかこの子供達を助きたい」と私に訴えてきた。

文化交流だけを目的に活動して来た私達は、社会の歪に思いが至らず、深く反省をさせられた。「罪のない子供達が社会の中で犠牲になって行く、この子供達に恨みを持って、大人になってほしくない」と語り続ける彼女に、我々は早速活動を展開する事にした。

新聞紙上で、神戸の被災者支援の活動を見られた、梶原岐阜県知事が、モンゴルの孤児を救おうと、知事自ら三百万円を集めていただき、協会の募金合わせて九百万円で、オユンナ児童基金がモンゴル国で設立、財団化され、ティムーレルと言う名前の孤児院が誕生し、現在、約40名の子供を預かっている。

民生化と共に日本にやって来たオユンナが、その歌声で交流の尊い火を灯し続け、今やモンゴルブームと云っても云い過ぎではない。

両国の友人達の熱い思いで生まれた国際交流の輪、互いに助け合い、共に生きる喜びを確かなものに育てていかなければと思っている。

お知らせ

2週にわたって皆様からご協力頂いた「オユンナ基金」は12/1には58,000円、12/8には60,000円と集まりました。又、久野昭治氏より講演料を頂いておりますペティBOXは34,815円あり、合わせて年末会員家族懇親会にてオユンナさんに基金を手渡し致します。ご協力ありがとうございました。

ペティBOXにつきましては、下期もご協力をお願い致します。

例会変更のお知らせ

| | |
|---------|-----------------------------------|
| 名古屋西RC | 12/24(木)年忘れ家族会の為、ナゴヤキャッスルにて17:30～ |
| 名古屋大須RC | 12/24(木)そば例会の為、11時～ |
| 名古屋瑞穂RC | 12/24(木)上期反省会の為、八勝館にて |
| 名古屋東南RC | 12/24(木)忘年家族会の為、17:30～ |
| 名古屋西南RC | 12/24(木)忘年家族会の為、12/26(土)18時 |
| 名古屋港RC | 12/25(金)忘年家族会の為、12/23(木)あまRC |
| | 12/28(月)年末家族会の為、12/25(金)16:30～ |
| 名古屋錦RC | 12/29(火)家族忘年会の為、12/26(土)に変更 |
| | ※ホテル休館の為、12/29サイン受付はありません。 |
| 名古屋名北RC | 12/30(水)家族忘年会の為、12/26(土)に変更 |
| 名古屋名駅RC | 12/30(木)定款第4条第1節2項により12/24(木) |

◆次回例会(12月22日)

難病モンゴル男児支援演奏

馬頭琴奏者 ハスパートル氏